

2009年度

科目名	社会調査法B		
担当教員	小西 宏幸		
配当	人社2	コード	45120
開期	後期	講時	木曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	社会現象を実証的に調査する方法を学ぶ。		
目的と概要	さまざまな調査方法によって得られたデータを情報処理する際の留意点やデータ分析の最低限の知識などを目指します。		
成績評価法	試験(70%) + 平常点(30%) 平常点は、レポート提出などによって加味します。		
テキスト	酒井 隆著 アンケート調査と統計解析がわかる本 日本能率協会マネジメントセンター		
参考書	その都度、紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	この科目は、情報処理実習に関する科目を履修していると、より理解は深まると思います。なお、講義内容は必ずしもテキストの順序どおりには進行しません。		
講義計画			
第1回 記述的統計とは？:代表値の基礎知識 第2回 社会現象と正規分布 第3回 パラメトリックな分析とノン・パラメトリックな分析とは？ 第4回 推測統計学とは？ 第5回 相関係数と説明力 第6回 さまざまな相関係数 第7回 有意差検定の基礎知識 第8回 独立性のデータと連関性のデータ 第9回 平均値の差の検定 第10回 頻度の差の検定 第11回 単回帰分析と多変量解析 第12回 要因配置計画について 第13回 分散分析の基礎知識(1)主効果と交互作用 第14回 分散分析の基礎知識(2)他の多変量解析との異同 第15回 まとめ			